

川崎市総合計画市民検討会議 第3部会【暮らし・交通】

日 時 平成27年2月8日（日）9：30～12：30

会 場 多摩区役所 11階会議室

出席者

- 委 員 磯崎コーディネーター、荻原委員、小山委員、青柳委員、加藤英雄委員、川島委員、馬場委員、松本委員、岡田委員、飯田委員、片山委員、辻委員、長野委員、後本委員、山下千裕委員
- 市 側 唐仁原都市経営部長、久万企画調整課長、阿部企画調整課担当課長、宮崎企画調整課担当課長、塚田企画調整課課長補佐、山本企画調整課担当係長

- 議 題 1 全体討議「都市構造・交通体系について」
- 2 グループ討議「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは」
「少子高齢社会における地域居住のあるべき姿とは」
- 3 成果発表等

公開及び非公開の別 公開

議事

開会

（司会 唐仁原都市経営部長）

それでは、これより川崎市総合計画市民検討会議第3部会を開催させていただきます。進行を務めます、総合企画局都市経営部長の唐仁原でございます。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、本日皆さまのお手元にお配りしております資料などを確認させていただきたいと思っております。これまでどおり、本日配布させていただく資料は、事前に送付しているもの以外のものとさせていただきます。もし、事前配布資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたら、事務局で予備がございますのでお申し出ください。

本日お配りしました資料は、

- 本日の意見シート
- 参考資料3 第2回全体会開催結果
- 参考資料4 第2回全体会議事録

をお配りしております。

事前に送付している資料の中で、若干修正のあったものを追加させていただいております。

- 資料2－1 都市構造・交通体系について

●資料2-2 超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは
以上が本日の資料ですが、不備等ございませんでしょうか。

本日お配りした参考資料3と4は、1月25日に開催いたしました第2回全体会の結果概要と議事録でございます。皆さまには、それぞれ議事録のご確認をいただきありがとうございました。また、資料2-1と2-2ですが、掲載するデータ、掲載の順番等に若干の修正がございましたので、内容自体には大きな変化はございませんが、説明をお聞きいただく際には、本日お配りした資料をご覧いただければと思います。結果概要、議事録も含めまして、資料は市のホームページに公表させていただいております。

続きまして、事務連絡になりますが、本日の会議開催に当たりまして、いくつかご説明を申し上げます。この会議は川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、公開とさせていただいております。本日の発言につきましては、議事録をご確認いただいた後、ホームページに公表させていただきます。

これから議事の方に移りますので、進行をコーディネーターの磯崎先生にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

(磯崎コーディネーター)

皆さま、おはようございます。貴重な日曜日の午前中にお集まりいただき、ありがとうございます。まだ記憶に新しいところですが、1月25日、第2回全体会を開催いたしました。それぞれ、その間に開催された第1部会と第2部会の報告をしていただき、情報を共有化しました。また、防災・コミュニティについて、グループ討議をしていただき、大変有意義で活発な議論をしていただきました。当日は、福田市長にも最後まで出席していただき、われわれの議論に大変触発されたとのコメントをいただきました。ありがとうございました。

さて、本日の第3部会ですが、「暮らし・交通」というテーマでございます。今までの2回の部会が比較的ヒューマンサービスというか、ソフトの施策だったのに対し、本日はハードの施策になるかと思っております。手元の資料は大変充実しております、本日もかなり面白いご報告がいただけるのではないかと思います。事務局からは細かいお話も含めて情報提供があると思っておりますが、皆さんにはむしろ日頃生活されている中で感じていることなどを中心に、活発にご議論いただければと思います。皆さんは、第1部会、第2部会のいずれかにはご出席されたと思っておりますので、進め方についてはご存じのとおりです。本日も比較的長く時間をとっておりますので、思う存分ご発言いただき、アイデアなどをご提示いただければありがたいと思っております。

さて進め方ですが、今回は具体的なディスカッションに入る前に、市のまちづくりの中で特に中長期的な視点を含めて進めております都市基盤整備、都市構造・交通体系の分野における基本的な考え方について、15分くらいでご説明いただいた後、15分くらいの質疑の時間をとり、合計30分の情報提供、情報共有化の時間を設けたいと思っております。それでは、事務局からご説明をお願いします。

(事務局から資料2-1に基づきスクリーンを用いて説明し、質疑応答)

(磯崎コーディネーター)

関心のある事業や個別の問題はいろいろあると思いますが、時間も限られていますので、グループ討議に移らせていただきます。本日のテーマの1つ目は「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは」ということです。いま市全体のマクロな状況についてご説明いただきましたが、グループディスカッションではより身近な地域交通のあり方について議論していただきたいと思います。もう一つは「少子高齢社会における地域居住のあるべき姿とは」で、住宅政策に関わるテーマを取り上げたいと思います。いつものように、それぞれのテーマについて、自分・家庭でできること、地域でできること、行政がやるべきこと、の3つの側面に分け、考えていただきたいと思います。

それではまず、テーマ1「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは」について事務局からご説明をお願いします。

(事務局から資料2-2に基づきスクリーンを用いて説明)

(磯崎コーディネーター)

ありがとうございます。大変興味深いお話をいただきました。今の点についてご質問などがありましたら、各テーブルに職員の方が参加されていますので、ご確認いただきながら議論を進めていただければと思います。

この後のタイムテーブルですが、テーマ1については、11時くらいまでを目途にお願いしたいと思います。途中、休憩を5分間程度取っていただいて、テーマ2については、12時くらいまでをお願いしたいと思います。全体会は、休憩を挟んで12時5分くらいを予定していますので、それに向けてまとめていただくようお願いいたします。では、この後の進行につきましては、三菱UFJスタッフのファシリテーターをお願いします。よろしく願いいたします。

【グループディスカッション (約120分)】

発表

(第1グループ)

「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは」

(馬場委員)

「地域に応じた整備」として、北部と南部では坂が多かったり平坦なところがあったりで状況が違っている中で、バスレーン・自転車レーンの整備といった地域に最適な整備が必要であるという意見が出ました。

また、「マナーを守る・ルール徹底」として、特に自転車について話が出ました。自転車は車の仲間であるという国の見解に対して行政が対応に追われており、ルールが徹底されていない状況です。特に中高生に対しての教育が充実していないため、学校・地域・ムーブメント、意識の改革が大事だという意見が出ました。

違法駐輪に関しては、通勤利用と商業施設利用とで状況が違うということで、特に商業施設に

対する整備要請を行政からお願いしたいという話がありました。

次に「ウォーキングの推奨」として、健康のためには歩くことが最も大事であるということで、徒歩でも交通費が支給されるなどの企業の支援、休憩できるベンチの整備といった地域でのまちづくりとしてのウォーキングを徹底すべきとの話がありました。

また、「地域での乗り合い」として、特に高齢者の方や渋滞について考えた際に、マイカーを共通で利用、活用したり、シルバー用の三輪車、ベロタクシーのようなものを活用してはどうかという話が出ました。

また、自転車に関してですが、歩道に自転車レーンを設けることは道路拡張を含めて厳しいところがあるのですが、自転車通行ラインへの青色矢印や自転車マークの着色等のように、できることから始めれば良いという話がありました。

次に、「デマンドバス・既存のものを活用する」ということで、サンフランシスコの民間との連携の取組のように、WEBで乗り物の位置を確認し呼ぶことができるシステムの導入をしてはどうかという話が出ました。また、路線バスの利便性を上げるために、乗り換えをフリーにしてはどうかという話も出ました。

最後に、「場所のシェア・時間によるシェア」ということで、カーシェアリングや、違法駐輪対策として地域の空いているスペースを活用した時間貸駐輪場といった案が出ました。

「少子高齢社会における地域居住のあるべき姿とは」

(小山委員)

私たちのグループでは、誰かが出す意見に対して共感が得られるケースが多く、とてもまとまりが良かったように思います。

まず、「公園などを人が集まりやすくする多機能化」ということで、ただ公園として利用するだけでなくハイブリッド化し、公園や市営体育館、小学校の体育館などを少子高齢化で増加すると思われるホームレスに夜間の素泊まり所として提供してはどうかという意見が出ました。

次に、「親子で近くに住む」ということで、コミュニケーションがとれることで孤立化を防いではどうかという意見も出ました。

また、「税金をたくさん納めてくれる世帯・子育て世帯の誘致・定着化」という意見ですが、これについて私は詳しくないのでお願いします。

(佐藤ファシリテーター)

税金をたくさん納めてくれるであろう年代になるまで定着してもらえるように、家賃補助等を充実させるなど、子育て世帯を誘致し定住してもらえる体制を整えるということです。

(小山委員)

次に、「既存のものをうまく活用する」ということで、リサイクルが重視されていますので、空いている団地も活用し、空き家の有無もチェックすることが大切だと思います。それとともに、お年寄りが住んでいる家などをシェアハウス化し若者を集め、通常のシェアハウスよりも安く住めるようにしてお年寄りの面倒も見てもらえるような取組を行うのも良いと思います。また、お年寄りの一軒家をアパートメント化することで孤立しないようにし、若者とお年寄りでコミュニケーションがとれて昔話などもできるようにすることも大切だと思います。

それに関連して「ひとり暮らしをなるべくしないようにする」ということで、ひとり暮らしで自分勝手に生きる人が多い中、非現実的かも知れませんが、ふたり以上でなければ住めないようにすれば、孤立化を防げるのではないかと考えました。

(磯崎コーディネーター)

ありがとうございました。

では第2グループの方、少し短めに発表をお願いいたします。

(第2グループ)

「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは」

(山下千裕委員)

まず、「自転車マナー・意識向上が必要」ということで、特に高齢者・子育て世代に2人・3人乗りの自転車や電動自転車のマナー、若者への普及啓発、ルールの徹底などを行う必要があると考えました。また、地域での講習会開催という案も出ました。

同じく自転車について、「安全に自転車を利用できるハード整備」ということで、身軽に手ごろな値段で買って簡単に利用できる自転車ですが、ルールを徹底し、責任があるということを再度周知すべきだと考えました。また、歩道・車道・自転車道の区分けをし、ルールを徹底する必要もあると思います。歩道を走る自転車、車道を走る自転車、どちらもとても怖いという意見が多く出ました。

3番目として、「コミュニティ交通の活性化」ということで、最適な手段を選ぶことが重要で、その課題は収益と解決のアイデアだという意見が出ました。コミュニティバス、マイクロバス、乗り合いタクシーなど、もっと個人の希望を叶えられるオンデマンドなシステムをICT活用によって普及できれば、活性化・効率化できるのではないかという意見が出ました。また、企業からの協賛や、バス車体のシェアなどをすることで早期の収益改善が望めるのではないかという意見も出ました。

また、「路線バスをより使いやすく」ということで、利便性を向上させ、麻生区のように坂が多い地域では頂上までバスを通してほしいと思います。

最後になりますが、「市民の安全と利便性がUPする道路整備」ということで、優先順位の高いものから計画を進めてほしいという意見も出ました。また、幹線道路は拡幅と立体化で、一般道路は自転車道・車道の区分け明確化を図るべきだと考えました。

「少子高齢社会における地域居住のあるべき姿とは」

(長野委員)

まずは「多世代交流の場づくりを」ということで、シニアの方が保育園の保育員になれるとか、昼間開いている学童保育にシニアの居場所づくりをして保育に参加してもらい、若い保護者との交流の機会を設けるなど、施設の有効利用を図るべきだと考えました。

ハードは「20年後・30年後を意識したまちづくりを」ということで、20~30年先まで見据えた設計をすべきだと考えました。高度成長期に小学校などがたくさん必要になり大きな施設をつ

くっても、必要がなくなると空いてしまいますので、そのような場所を施設転用できるように、ハードとソフトの融合をあらかじめ行政で計画できると良いと思います。

また、「ライフステージに合わせた住み替えの促進を」ということで、家族が多いときは駅から遠くても一戸建てに住みたいと考えた人が、シニアになってふたり暮らしになると駅近に住みたくなる、といった様々なニーズに対応するため、流動化を促進すべきだと考えました。持ち家信仰から脱却し、賃貸化して流動化する仕組みをつくるのが良いと思います。

また、こうしたことで人間関係や信頼関係ができると、金銭を超えた等価交換もできるのではないかということで、「公共による仕組みづくり」として、川崎市内で等価交換できるシステムをつくれば市の魅力になるという意見も出ました。

最後に、「川崎市に住み続けたい魅力づくりを」ということで、医療施設・文化施設・商業施設を充実させ付加価値をつけ、しかも交流もきちんとできるように、インフラとソフトウェアの整備をしっかりと行うべきだという結論が出ました。

投票

(磯崎コーディネーター)

ありがとうございました。初めての方にも発表いただき、とても良かったと思います。

多岐にわたる論点が出てきましたが、これからシール投票に移りたいと思います。3つずつシールが渡されていると思いますので、ご自分のチームでも他のチームでも構いませんので、投票をお願いいたします。主にホワイトボードに書かれたまとめのことばに貼っていただくと、まとまりが良いと思います。各グループで共通する提案や意見も見受けられますが、その場合はどちらかに貼っていただければと思います。よろしくお願いいたします。

講評

(磯崎コーディネーター)

それでは第1グループの第1のテーマから、どのような提言に投票が集まっているか確認したいと思います。まずは「マナーを守る・ルールの徹底」に2票、「デマンドバス・既存のものを活用する」には「民間との連携」も含めて3票、「カーシェアリング」「場所のシェア」にも票が入っています。

同じテーマについて第2グループを見てみますと、「コミュニティ交通の活性化」ということで、収益などの問題と「最適な手段を選ぶ」に3票入っています。また、「安全と利便性がUPする道路整備」については、「プライオリティが高いものから」実施する、「幹線道路と一般道路を区別する」といった提案に票が集まっています。

第1グループの第2のテーマについては、少し分散していますね。「ひとり暮らしをなるべくしないようにする」、「多世代交流」の施設づくり、「税金」などに1票入っています。

第2グループでは、「20年後・30年後を意識したまちづくりを」に3票、「ライフステージに合わせた住み替えの促進を」には5票集まっています。さらに、「川崎市に住み続けたい魅力づくりを」には最も多く票が集まっており、「医療サービスの充実」「商業文化」ということでした。

全体のまとめとしてキーワードを選定しますと、1つは、「マナー・意識向上」です。交通分野に出ていましたが、セーフティネットや安全にも関係し、「自助・共助」のところで出てきたと思います。

2つ目は「シェア・交換」ということで、場所のシェアやカーシェアリングという話がありましたし、住み方のところでも「等価交換」が出てきました。税金を使うのではなく、市民の間でニーズが共通するものはシェアし、ニーズが違うものは交換するという発想にもつながると思います。

3つ目は「長期展望・ライフステージ」です。「20年後・30年後を意識したまちづくりを」という話がありましたし、武蔵小杉の高層マンションの話が出たときに、20～30年後には住民が高齢化するというのを考えるべきだという話もありました。それに関連して、「ライフステージに合わせた住み替え」も大変重要だと感じました。

最後のキーワードは「プライオリティ」です。ディスカッションに入る前の全体のご説明と質疑の中でもこの言葉が出てきましたが、今回は「公助」に対する要求・提案が多かったと思います。そこで、事務局の説明にもありましたが、財源がない中でどういう課題や事業を重視するか、その優先順位が問題になります。そこで、「プライオリティ」も今日の共通した視点になると思います。

以上4つにまとめましたが、事務局ではより詳細な記録をつくりますので、この第3部会の議論は全体にも生きてくると思います。

次回は3月1日に第3回全体会がごございます。本日出席されなかった方にも今回の内容をお伝えしたうえで、第3回全体会以降は、総合計画に対してわれわれの意見をどのように提言するかというまとめの議論に移る必要があると思います。有識者会議と合同あるいは相互に学びあう形で、どう成果をまとめるかについても考えてまいりたいと思います。

本日も、とても有意義な議論になりました。長時間にわたりありがとうございました。

閉会

(司会 唐仁原都市経営部長)

委員の皆さま、長時間にわたり議論いただきありがとうございました。

磯崎先生からもお話がありましたが、第3回全体会を3月1日に開催いたします。詳細は後日ご連絡差し上げます。

最後に事務連絡ですが、いつもと同様、意見シートに必要事項をご記入いただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして総合計画市民検討会議第3部会を終了いたします。ありがとうございました。

以 上